

出雲の阿国

Izumo no OKUNI

有吉佐和子「原作」 小池いけ「装置」
津上 忠「脚色」 松本由美「照明」
鈴木龍男「改訂・演出」 川崎絵都夫「音楽」
小倉 潔「効果」 吾妻寛穂「振付」
小野文隆「舞台監督」

歌舞伎はここから始まった——
度重なる困難を乗り越え
燃え立つ炎のように踊り続けた阿国の伝説が
今新たな幕をあける——

「歌舞伎の始祖」といわれる阿国の生涯を追った有吉佐和子の名作を原作に、前進座が『出雲の阿国』を初演したのは一九七二年（昭和四十七年）。華やかな踊りが散りばめられた情熱的な舞台は、その後、幾度となく再演を重ねてまいりました。

今回の上演では、「阿国」に浜名実貴、「伝介」に松井誠さんを迎えるなど配役も一新、本年一月には劇団創立95周年記念公演第一弾として京都で上演し、大好評をいただきました。新たに生まれ変わった『出雲の阿国』にご期待ください。

【あらすじ】

時は信長亡き後、秀吉が天下人となった安土桃山時代。出雲大社の御札売りから始まった阿国一座の念仏踊りは、四条河原で人気を博し、阿国の夫、鼓師三九郎の才覚で、やがて淀君の前で踊るまでになる。

加茂川の洪水で河原の小屋が流されるが、政商の後ろだてを得て小屋を再建。猿若座の道化方だった伝介や、阿国を慕って出雲から出てきたお菊が一座に加わり、芝居仕立ての華やかな舞台は「阿国歌舞伎」と呼ばれ大変な人気となる。一方で、河原に集まる庶民の前で踊りたい阿国と、貴人や富豪に取り入ろうとする阿国の夫・三九郎との間には、心の隔たりが……。

競合する遊女歌舞伎の台頭、裏切りと離反、恨みと策謀、都からの追放。次々と襲いかかる困難の中、病いに倒れた伝介らを連れて出雲へと帰ってきた阿国は、故郷の人々の災難を知り、ある決意をする……。



松井誠プロフィール

25歳で劇団員を立ち上げ、妖艶な女形は「生ける博多人形」、粋な立ち役は「長谷川一夫の再来」と称される。舞台を中心とした活動の一方、NHK大河ドラマ「風林火山」の北条氏康役をはじめ、TVドラマや映画にも多数出演。近年では、脚本家、演出家、振付師としても活躍している。前進座との共演は、2011年の前進座創立80周年 前進座劇場企画『十六夜清心—花街模様菊色縫—』以来、15年ぶりとなる。松井誠公式サイト <https://www.makotonokokoro.net>



松井 誠
(特別出演)



上滝啓太郎 渡会元之 早瀬榮之丞 黒河内雅子 浜名実貴 江林智施 嵐芳三郎 藤川矢之輔
いりじろ武蔵 (MAKOTO) 石嶋隆生 伊吹奈津実 松川悠子 嵐市太郎 平澤 愛 玉浦有之祐 有田佳代

デザイン：河部寿 宣伝写真：加藤孝 メイク：青木満寿子

10月17日(土)ー24日(土) 三越劇場 日本橋三越本店 本館6階
11月5日(木) たましんRISURUホール 大ホール
11月6日(金) 武蔵野市民文化会館 大ホール

ご観劇料金(全席指定・税込)

一等席9,000円／二等席6,000円／三等席3,500円(三越劇場は設定なし)／ユースチケット(30才以下)3,500円

お問合せ 前進座東京事務所 Tel: 0422-49-2811(平日 午前10時～午後5時) Fax: 0422-45-0312 Email: tokyo@zenshinza.com



東京土建統一観劇会

10月18日(日)15:30 開演の部
【日本橋・三越劇場】

一等席:6,000円 定価9,000円のところ
友の会料金に共済会補助がついて

- ◆三越公演：統一観劇会以外
 - ◆立川公演：11月5日(木)15:00 開演
 - ◆武蔵野公演：11月6日(金)15:00 開演
- も同料金で承ります。

お問合せ・お申込みは…各支部厚生文化部へ

東京土建組合員・家族のみなさん

こんにちは、どけん共済会理事長の石村英明です。

前進座の秋公演は、劇団創立95周年記念公演『出雲の阿国』です。映画で一大ブームとなった歌舞伎の「創始者」といわれているのは、実は「阿国」という女性です。この阿国の、困難にぶつかりながらも己の信念を貫いた炎のような人生が、唄あり踊りありで華やかに描かれます。

今回の観劇目標は、全都で200名とさせていただきました。支部での取り組みの目安を支部厚生文化部や支部執行委員会でご確認いただき、多くの仲間への声かけをお願いします。

統一観劇会の三越劇場はじめ、三多摩地域では立川・武蔵野の各会場で、多くのみなさんで楽しみましょう。お待ちしております。



東京土建前進座友の会会員募集中！ 会報配布や交流会開催など 前進座が身近になります！